

# 生駒市病院事業推進委員会 医療連携専門部会

## 第 2 回 会 議

平成26年2月20日(木)

午後9:00～



1

## 本日の次第

- 第1回会議内容のまとめ
- 平成26年度診療報酬改定から見る今後の動向と市立病院の役割
- 生駒市における医療連携の実態及び課題等  
地域医療連携に関するアンケート調査案  
(1) 市内医療機関対象アンケート調査票案  
(2) 市民対象アンケート調査票案



2

# 第1回会議内容のまとめ

3

## 部会員からの提案

### 1 調整役となる組織体が必要

これからの地域医療を考えると、「地域包括ケアシステム」を視野に入れた、医療・保健・介護・福祉に関わる多職種・多施設の連携体制の円滑化のための調整役を行政が担ってほしい。

→どのようなイメージになるのか？

### 2 疾病別の市外流出患者数等のデータの提示

国保レセプトデータでは入院患者の7割が市外へ流出していることから、どのような疾病の患者が市外へ流出しているかを分析することで、市民の受療行動の傾向が分かることから。

→事務局側でデータの提示を試みる。

### 3 地域医療連携において市立病院は主導的な役割を担うべき

4

#### 4 市内医療機関、市民、介護施設等へのアンケートやヒアリングの実施 →谷口・今村両部会員からたたき台を提案

市立病院と市内診療所との関わり方や市立病院への市民の期待、介護施設等と医療機関との連携の実態について把握すべき。

#### 5 かかりつけ医制度の創設・普及

市立病院が2次医療と救急医療に専念できる体制を確保するために、1次医療は、診療所に担ってもらい体制の確立をすべき。

#### 6 市立病院の医療機器、病床のオープン利用、最新の医療情報の提供の推進

#### 7 健康や予防医療に関する市民への啓発活動の推進

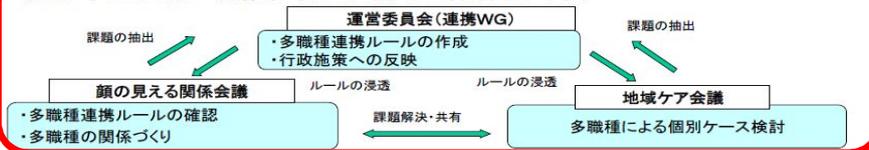
#### 8 市立病院についての市民への積極的な広報活動の推進

市民の関心や認知度を高め、市民が育てる病院となつてほしいとの趣旨から。

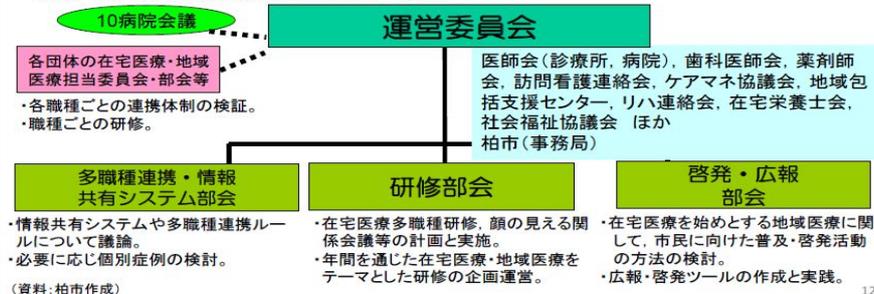
### 地域全体の連携の調整役となる組織体のイメージ

#### 柏市の在宅医療・介護多職種連携の体制(案)

##### (1) 在宅医療・介護多職種連携の会議体制(案)



##### (2) 地域医療拠点運営委員会(案)

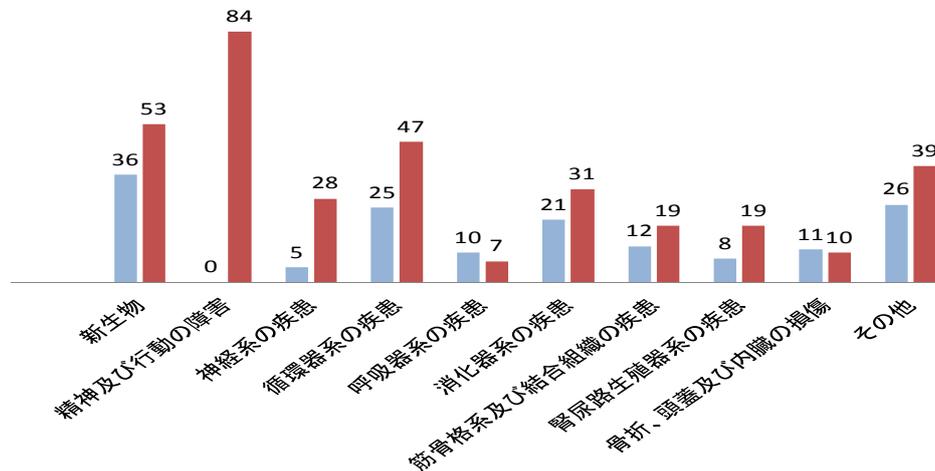


(資料: 柏市作成)

## 疾病別の市外流出患者数等のデータ

国保レセプトデータ病名群別件数グラフ(入院)

■ 市内 ■ 市外



平成25年5月診療分国保レセプトデータから

7

## 平成26年度診療報酬改定 から見る今後の動向及び 市立病院の役割

8

## 平成26年度診療報酬改定のポイント

### ◎入院

重症患者向けのベッドを大幅に減らし、リハビリ専門職らが退院を支援する病床を新設して転換を促す。



- ・看護基準7対1の要件の厳格化(重症度、医療・看護必要度等)により、増えすぎた重症患者向けベッド(急性期病床36万床)を、そのうち9万床を減らす方針。
- ・急性期病床に代わる受け皿として、急性期を脱した入院患者向けのリハビリを積極的に行い、退院につなげる病床(地域包括ケア病床)の新設

9

## 平成26年度診療報酬改定のポイント

### ◎外来

生活習慣病や認知症の患者をかかりつけ医が継続的に診療する場合に、再診料や検査等の月額まとめ払い(地域包括診療料)を導入。



- ・患者が望めば、かかりつけりの主治医を決め、外来診療料の包括払いを選べる。
- ・地域医療に積極的なベッド数200床未満の病院や診療所は、当該患者が、複数の医療機関からもらった薬を全て把握して服用を管理したり、健康診断の受診を促したりする。

10

## 平成26年度診療報酬改定のポイント

### ◎在宅

- ・看取りや緊急往診に積極的な医療機関の報酬を上げる。
- ・在宅療養支援診療所等の後方病床として、「在宅療養後方支援病院」を新設する。



- ・機能強化型在宅支援診療所及び在宅支援病院の看取りや緊急往診等の実績要件の引き上げ。
- ・200床以上の病院が対象で、緊急時に入院を希望する病院として予め届け出している患者を緊急時にいつでも対応し、入院を受け入れる。

11

## 平成26年度診療報酬改定から見えてくる 政府が目指す高齢者医療の姿

団塊の世代が75歳に達する「2025年」頃に急増する医療・介護の需要に備える見直しが盛り込まれている。



今の病院中心の医療体制では急増する高齢者を受け入れられない！ ➡ 住み慣れた地域や在宅で支える仕組みへの転換が迫られている！

12

## 平成26年度診療報酬改定から見えてくる 政府が目指す高齢者医療の姿

### 「時々入院、ほぼ在宅」

患者が自宅や施設で暮らすのを基本とし、入院が必要でも極力短期間とする形。



今の「病院完結型」を「かかりつけ医」や看護師が患者を訪ねて診察する「地域完結型」に変えていく。

「かかりつけ医」は、国が進める医療改革の「主役」として期待されている！

13

### 生駒市立病院の地域医療に係る役割

#### 地域の医療機能の効率的な活用を推進するために

- ◎ 患者の紹介・逆紹介の推進
- ◎ 開放型病床の設置
- ◎ 医療機器、手術室等のオープン利用

#### 市内の在宅医療を支援・推進するために

- ◎ 地域連携パス・退院支援チームの導入
- ◎ 在宅患者の緊急時の後方病床の確保

#### 地域医療機関のさらなる医療レベル向上のサポートとして

- ◎ 地域医療機関との合同症例検討会等の実施
- ◎ 地域医療機関への医療教育プログラムの提供

#### 市民・患者中心の地域医療を推進するために

- ◎ 医療講演会の定例開催
- ◎ ICTを活用した患者情報の共有化の推進

市内のそれぞれの病院や診療所・クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担して、病気の診断や治療、検査、健康相談等を行い、地域の医療機関全体で1つの総合病院のような機能を持ち、身近な地域で急性期→回復期・慢性期→介護施設・在宅の各段階において切れ目なく円滑に、市民が必要とする安全で質の高い医療の提供ができる体制を整備する。まさしく、そのサポート役であり、ときには、リード役を担っていくのが、生駒市立病院の役割なのです！

(生駒市病院事業計画から)

14

# 生駒市における医療連携の 実態及び課題等

## 地域医療連携に関する アンケート調査案

15

### 調査の種類

- (1) 市内医療機関対象アンケート調査
- (2) 市民対象アンケート調査

※ 介護施設・事業所等は、ヒアリング調査で行えばどうか。

### 調査の主な目的

- (1) 市内医療機関対象アンケート調査

- ・本市の医療連携の状況の把握
- ・かかりつけ医や在宅医療の供給状況の把握
- ・市立病院の取組みについての意向把握 等

- (2) 市民対象アンケート調査

- ・入院時及び救急時の受療行動の把握
- ・かかりつけ医や在宅医療の需要状況の把握
- ・市立病院の取組みについての認知度の把握 等

16

## 調査の実施方法

- 実施地域：生駒市全域
- 実施方法：郵送による配布と回収
- 実施期間：平成26年2月末～2週間を予定
- 調査対象：

(1) 市内医療機関対象アンケート調査

市内全医科診療所 87件

(病院、歯科診療所は対象外)

(2) 市民対象アンケート調査

無作為抽出された20歳以上の市民

男女各1,000人の合計2,000人

17

## (1) 市内医療機関対象アンケート調査票案

### □ 調査項目

#### ■回答者の属性に関する調査

問1. 標榜診療科名

問2. 所在地(小学校区)

#### ■紹介・逆紹介状況に関する調査

問3. 紹介・逆紹介の有無

問4. 照会先の選択基準

問5. 照会先

#### ■かかりつけ医に関する調査

問6. (1) 提供している医療サービス

(2) 提供できていない医療サービス

(3) 提供できない理由

18

## (1) 市内医療機関対象アンケート調査票案

### □ 調査項目

#### ■在宅医療に関する調査

問7.(1) 訪問診療・往診の実施の有無

(2) 訪問診療・往診を行っていない理由

(3) 訪問診療・往診の依頼元

(4) 在宅患者増悪時の受け入れ病院確保の有無

#### ■市立病院の地域医療支援の取組みに関する調査

問8.(1)～(13) 以下の取組みへの参加・利用の意向確認

救急体制、医療講演会、地域連携パスなど診療所との

連携、在宅患者の病床確保、開放型病床、医療教育プ

ログラム、合同症例検討会等、医療機器・血液検査・

手術室のオープン利用、患者情報のデータ化・共有化

19

## (1) 市内医療機関対象アンケート調査票案

### □ 調査項目

#### ■問9.医療情報の電子化の状況に関する調査

#### ■問10.市内全体の多職種間連携を調整する組織体の 必要性に関する調査

### □ アンケート調査票案についての検討

20

## (2) 市民対象アンケート調査票案

### □ 調査項目

#### ■ 回答者の属性に関する調査

- 問1.性別
- 問2.年齢
- 問3.住所地
- 問4.在住年数
- 問5.職業
- 問6.仕事先・通学先
- 問7.世帯構成(未就学児童・後期高齢者の有無)
- 問8.加入医療保険

21



## (2) 市民対象アンケート調査票案

### □ 調査項目

#### ■ 入院時に利用する医療機関に関する調査

- 問9.入院時利用する医療機関の所在地
- 問10.市外医療機関の選定理由

#### ■ 夜間の急病経験に関する調査

- 問11.夜間の急病経験の有無
- 問12.夜間の急病時の対応

#### ■ かかりつけ医に関する調査

- 問13.かかりつけ医の有無
- 問14.かかりつけ医の選定理由
- 問15.かかりつけ医を持たない理由
- 問16.かかりつけ医に望む医療サービス

22



## (2) 市民対象アンケート調査票案

### □ 調査項目

#### ■ 在宅医療に関する調査

問17.在宅医療を希望するか否か

問18.在宅医療の実現に支障となること

問19.在宅医療を希望しない理由

#### ■ 市立病院に関する調査

問20.市立病院の取組みについて知っていること

問21.市立病院に望む情報提供

問22.市立病院利用時の交通手段

#### ■ 市民参加に関する調査

問23.地域医療を育てるために市民にできること

#### ■ 問24.市内全体の連携を調整する組織体の必要性に関する調査

23



### □ アンケート調査票案についての検討

24

